

## 第六次白石市総合計画指標見直しの一覧表

### ■重点戦略3 まちの魅力づくり戦略

	指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	中間目標値 (R7)	R6達成度 (R6/中間)	伸び率 (R6/現状)	目標値 (R12)	R6達成度 (R6/目標)	達成 (未達成) の要因・背景	見直しの方向性	見直しの理由	担当課
見直し前	本市に住み続けたい(ずっと住み続けたい)と思う割合	市民アンケート	27%	77.1%	6.2%	26.1%	23.2%	28.3%	35%	181.4%	135.2%	40%	158.8%	市民アンケート結果は少しずつつてはあるが上昇しており、子育てに関する満足度が上昇していること、安全・安心な医療の提供体制が強化されたことが要因と考える。	見直し	総合戦略に設定されている市民アンケートの回答項目及び目標値と合わせるため	企画政策課
見直し後	本市に住み続けたい(ずっと住み続けたい、当分は住み続けたい)と思う割合	市民アンケート	59%	—	33.2%	59.8%	60.9%	63.5%	—	—	7.6%	70%	90.7%				
見直し前	市外からの移住世帯数(定住促進事業申請者)		39世帯	65.0%	38世帯	33世帯	36世帯	23世帯	60世帯	38.3%	-41.0%	80世帯	28.8%	移住相談や移住フェアへの参加、ホームページなどにより広く制度の周知を図っているが、移住の要因は補助金の有無のみで決められるものではないことや、人口減少及び住宅取得価格の高騰などによる社会構造の変化に伴い新設住宅着工戸数も年々減少していることも要因と考える。	縮小	国土交通省が公開している「新設住宅着工戸数の調査データ」によると、2006年度から減少傾向が続いており、直近のデータでは2006年度の2/3まで減少している状況である。また、新設住宅着工戸数の減少は、今後も続く予想されており、2040年度には、2006年度の1/2まで減少することが見込まれているため。	まちづくり推進課
見直し後	市外からの移住世帯数(定住促進事業申請者)		39世帯	65.0%	38世帯	33世帯	36世帯	23世帯	60世帯	38.3%	-41.0%	60世帯	38.3%				

### ■重点戦略4 輝く未来地図戦略

	指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	中間目標値 (R7)	R6達成度 (R6/中間)	伸び率 (R6/現状)	目標値 (R12)	R6達成度 (R6/目標)	達成 (未達成) の要因・背景	見直しの方向性	見直しの理由	担当課
見直し前	働く場の創出(企業誘致による従業員増加数)		—	—	0人	0人	0人	0人	R3~R7 20人分	—	—	R8~R12 30人分	—	企業誘致のみによる従業員増加数としているため、誘致が行われた場合実績値を記載することとなるが、現実的には誘致が決まっても造成等を行う必要があり、当分の間実績値を記入することができない。	見直し	企業誘致のほか、増設等に伴う従業員数を増やすことで、より一層の働く場の創出につなげるため。	都市創造課
見直し後	働く場の創出(企業誘致・増設等による従業員増加数)	企業立地雇用促進奨励金	—	—	0人	0人	0人	8人	R3~R7 20人分	—	—	R8~R12 30人分	—				

### 1-2 地域・家庭の教育力の向上

	指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	中間目標値 (R7)	R6達成度 (R6/中間)	伸び率 (R6/現状)	目標値 (R12)	R6達成度 (R6/目標)	達成 (未達成) の要因・背景	見直しの方向性	見直しの理由	担当課
見直し前	学校支援ボランティア活動回数	実績より	1,174回	94.9%	1,133回	1,209回	627回	927回	1,237回	74.9%	-21.0%	1,291回	71.8%	コロナ禍で学校支援ボランティア活動が減少し、5類に移行した後もコロナ前の水準に戻っていない状況にあるため、目標達成には至らなかった。	縮小	学校支援ボランティア活動がコロナ前の水準に戻っていないことや、少子化に伴う児童数減少により学校からのボランティア要請が減少したこと、またボランティアの高齢化による人材不足などで活動回数が減少しており、実績値と中間値・目標値に乖離があることから、中間値を実績値直近3年の平均値とし、現状値(R1)の水準を超えることを最終目標とするため。	生涯学習課
見直し後	学校支援ボランティア活動回数	実績より	1,174回	94.9%	1,133回	1,209回	627回	927回	1,237回	74.9%	-21.0%	1,180回	78.6%				

第六次白石市総合計画指標見直しの一覧表

1-3 生涯学習・スポーツの推進

	指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	中間目標値 (R7)	R6達成度 (R6/中間)	伸び率 (R6/現状)	目標値 (R12)	R6達成度 (R6/目標)	達成 (未達成) の要因・背景	見直しの方向性	見直しの理由	担当課
見直し前	スポーツ少年団加入率	実績より	13.70%	97.9%	12.22%	12.96%	11.90%	12.20%	14.00%	87.1%	-10.9%	14.20%	85.9%	近年、スポーツ少年団に属さない活動をする子どもたちが増えてきており、目標達成には至らなかった。	見直し	スポーツに取り組む子どものみを対象とした従来の指標ではなく、広く生涯学習活動、スポーツ活動、地域活動に取り組む市民を対象とした指標として見直し、公民館利用者を新たな指標とする。 なお、目標値については、令和12年度の人口推計を基に、現在の公民館利用率から算出した。	生涯学習課
見直し後	公民館利用者数	実績より	97,298人	—	48,066人	63,383人	74,355人	77,603人	—	—	-20.2%	73,000人	106.3%				

1-4 歴史遺産・伝統文化の継承と活用

	指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	中間目標値 (R7)	R6達成度 (R6/中間)	伸び率 (R6/現状)	目標値 (R12)	R6達成度 (R6/目標)	達成 (未達成) の要因・背景	見直しの方向性	見直しの理由	担当課
見直し前	ワークショップ・講座などの開催回数	実績より	0回	0.0%	12回	12回	5回	5回	6回	83.3%	—	10回	50.0%	令和3年から令和4年度まで開催していた講座が終了したため、令和5年度は回数が減少し、目標達成には至らなかった。	見直し	講座の回数は、一旦終了すると、次期講座の開始まで一時的に回数が減少に転じてしまうなど、不安定な指標となることから、講座や講演会等の内容を評価する(満足度)指標に見直すため。	生涯学習課
見直し後	講演会開催等による満足度(講演会のアンケートで参加者が満足と答えた割合)	実績より	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40%	—				
見直し前	地域の歴史文化を紹介する講演会の開催回数	実績より	3回	100.0%	2回	3回	2回	2回	3回	66.7%	-33.3%	3回	66.7%	講演会は令和5年度は2回の開催であるが、市民向けの講演会の開催だけでなく、市内の小学校や中学校への出前授業を受け入れや、企画展の開催など、様々な世代に白石の歴史文化を紹介する機会を設けたため、市民向けの講演会の回数が減少した。	見直し	講演会のイベントに限らず、企画展を開催するなど、様々な世代に、様々な形で白石の歴史文化を紹介する機会を設け、講演会に限らず、企画展の開催等にも注力するため。	生涯学習課
見直し後	地域の歴史文化を紹介する講演会、企画展の開催回数	実績より	3回	100.0%	2回	3回	4回	3回	—	100.0%	100.0%	3回	100.0%				

第六次白石市総合計画指標見直しの一覧表

2-4 市民と行政の情報の共有化

	指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	中間目標値 (R7)	R6達成度 (R6/中間)	伸び率 (R6/現状)	目標値 (R12)	R6達成度 (R6/目標)	達成 (未達成) の要因・背景	見直しの方向性	見直しの理由	担当課
見直し前	市ホームページの閲覧数		639,171件	88.9%	713,068件	598,476件	577,257件	658,126件	719,000件	91.5%	3.0%	794,000件	82.9%	様々なSNSの普及や利用者の増加等により情報取得の方法が多様化しており、結果的に市ホームページ閲覧数が減少していると思われる。 なお、令和3年度は福島県沖地震の発生に伴い、罹災証明など関連する情報の閲覧が多かったため、令和6年度は、市制施行70周年記念に関連したサイトの開設などの閲覧が多かったため、一時的に増加した。	縮小	市ホームページは依然として重要な情報取得のツールであるものの、現在は様々なSNSの普及や利用者の増加等により、情報取得の方法が多様化している。今後もHPに限らず、市公式SNSなどの様々な媒体で情報発信を強化していくため。	総務課
見直し後	市ホームページの閲覧数		639,171件	88.9%	713,068件	598,476件	577,257件	658,126件	719,000件	91.5%	3.0%	650,000件	101.3%				
見直し前	LINE、Facebook の友だち数		2,171件	31.9%	5,699件	6,093件	6,377件	6,645件	6,800件	97.7%	206.1%	10,800件	61.5%	LINE、Facebook以外にも市公式SNSアカウント (Instagram、YouTube) があり、フォロワー数 (ともだち数、登録者数) が分散している可能性がある。	見直し	現在、市公式SNSアカウントとしてLINE、Facebook、Instagram、YouTubeを運用し、各媒体で様々な情報発信を行っている。また、情報発信力強化元年に位置付けた令和6年度に取り組んだ「SNS情報発信力強化業務委託事業」の効果もあり、特にInstagramのフォロワーが増加していることから今後もSNS研修等を実施し、Instagram、YouTubeを含めた情報発信力を向上させていくため。	総務課
見直し後	公式SNSアカウントの総ともだち数、フォロワー数 (LINE、Facebook、Instagram、YouTube)		2,530件	—	6,345件	6,845件	7,403件	8,078件	—	—	219.3%	12,200件	66.2%				

※下段の数値は、LINE、Facebook、Youtubeのともだち数、フォロワー数の合計、Instagramは各年度の数値が不明、R8.3.12現在1,761名のフォロワー数

2-5 持続可能な行財政運営

	指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	中間目標値 (R7)	R6達成度 (R6/中間)	伸び率 (R6/現状)	目標値 (R12)	R6達成度 (R6/目標)	達成 (未達成) の要因・背景	見直しの方向性	見直しの理由	担当課
見直し前	実質公債費比率	財政状況資料集	6.1%	98.4%	3.0%	2.8%	3.7%	5.5%	6.0%	109.1%	110.9%	6.0%	109.1%	令和5年度までの数値については、目標値を大幅に下回り達成している状況にある。要因としては、交付税措置のある有利な地方債を発行していること、市税や普通交付税などの一般財源の増加などが考えられる。 しかしながら、実質公債費比率については、過去3年間の平均値としていることから、過去の数値が大きく影響し、令和5年度単年度で見ると、6.18%となり、目標値を達成できていない。	縮小	今後の見直しとしては、 ・老朽化している公共施設の更新・長寿命化など、大規模な公共事業を実施する予定であること ・一部事務組合でも、消防施設整備を予定しており、他団体に対する公債費負担も増加する見込みであること ・病院事業について、令和5年度から市の病院事業となり、公債費のすべてが本市の負担となったこと ということで、公債費の増加が見込まれており、当初計画とは大きく状況が変化している。 しかしながら、大型の公共事業を進めるにあたって、地方債は大変重要な財源であり、活用なくしては今後の事業を進めることができないものと考えている。そのため、現在の目標値から設定を上昇させる必要があると考える。 このことを考慮しながらも、標準財政規模に対する公債費を抑える必要があることから、目標値を類似団体の過去5年の平均値とする必要があるため。	財政課
見直し後	実質公債費比率	財政状況資料集	6.1%	98.4%	3.0%	2.8%	3.7%	5.5%	6.0%	109.1%	110.9%	8.6%	156.4%				

第六次白石市総合計画指標見直しの一覧表

3-1 地域福祉の推進

	指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	中間目標値 (R7)	R6達成度 (R6/中間)	伸び率 (R6/現状)	目標値 (R12)	R6達成度 (R6/目標)	達成 (未達成) の要因・背景	見直しの方向性	見直しの理由	担当課
見直し前	地域包括ケアシステムの構築	第7期白石市障害福祉計画	未構築	未達成	構築	構築	構築	構築	構築	達成	—	構築	達成	地域生活拠点を仙南2市7町による共同整備したことにより、相談、緊急時の受け入れ・対応体制、体験の機会・場の確保、専門的人材の確保・養成、地域の体制づくりの強化が図られた。	見直し	増加傾向にある精神障害にも対応した地域包括ケアのため、担当者による協議を定期的実施する体制構築の必要があるため。	福祉課
見直し後	「精神障害にも対応した地域包括ケア（にも包括）」のための保健・医療・福祉担当者による協議の開催（年間開催回数）	第7期白石市障害福祉計画	—	—	—	—	1回	1回	—	—	—	3回	33.3%				

3-4 障がい者福祉の充実

	指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	中間目標値 (R7)	R6達成度 (R6/中間)	伸び率 (R6/現状)	目標値 (R12)	R6達成度 (R6/目標)	達成 (未達成) の要因・背景	見直しの方向性	見直しの理由	担当課
見直し前	成年後見制度利用数	第7期白石市障害福祉計画	0人	0.0%	0人	2人	0人	0人	1人	—	—	2人	—	親なき後の相談は増加傾向であるが、市長申立てによる制度利用は少ない。制度維持のためには、保健師や社会福祉士の配置のある地域包括支援センターとの連携を図り、権利擁護を推進する。	見直し	庁内連携による権利擁護の中核機関「権利擁護サポートセンター」が地域包括支援センター内に設置されたため。	福祉課
見直し前	地域生活支援拠点の整備	第7期白石市障害福祉計画	未整備	未達成	整備	整備	整備	整備	整備	達成	—	整備	達成	地域生活拠点を仙南2市7町による共同整備したことにより、相談、緊急時の受け入れ・対応体制、体験の機会・場の確保、専門的人材の確保・養成、地域の体制づくりの強化が図られた。			
見直し後	「精神障害にも対応した地域包括ケア（にも包括）」のための保健・医療・福祉担当者による協議の開催（年間開催回数）	第7期白石市障害福祉計画	—	—	—	—	1回	1回	—	—	—	3回	33.3%	増加傾向にある精神障害にも対応した地域包括ケアのため、担当者による協議を定期的実施する体制構築の必要があるため。			

第六次白石市総合計画指標見直しの一覧表

3-5 地域医療体制の充実と健康づくりの推進

指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	中間目標値 (R7)	R6達成度 (R6/中間)	伸び率 (R6/現状)	目標値 (R12)	R6達成度 (R6/目標)	達成 (未達成) の要因・背景	見直しの方向性	見直しの理由	担当課
見直し前 がん検診受診率 (胃がん)	第3次白石市健康プラン21	17.0%	42.5%	18.2%	17.1%	16.8%	17.1%	40.0%	42.8%	0.6%	50.0%	34.2%	高齢者人口の増加、就労女性の増加により医療機関や職場検診で受診する人が増加した。	縮小	令和6年度に策定した「第3次健康プラン21」と目標値を整合させるため。	健康推進課
見直し後 がん検診受診率 (胃がん)		17.0%	42.5%	18.2%	17.1%	16.8%	17.1%	40.0%	42.8%	0.6%	18.0%	95.0%				
見直し前 がん検診受診率 (肺がん)		32.8%	82.0%	33.0%	31.9%	33.0%	33.3%	40.0%	83.3%	1.5%	50.0%	66.6%				
見直し後 がん検診受診率 (肺がん)		32.8%	82.0%	33.0%	31.9%	33.0%	33.3%	40.0%	83.3%	1.5%	35.0%	95.1%				
見直し前 がん検診受診率 (大腸がん)		30.9%	77.3%	32.2%	30.2%	31.1%	32.1%	40.0%	80.3%	3.9%	50.0%	64.2%				
見直し後 がん検診受診率 (大腸がん)		30.9%	77.3%	32.2%	30.2%	31.1%	32.1%	40.0%	80.3%	3.9%	32.0%	100.3%				
見直し前 がん検診受診率 (子宮頸がん)		28.7%	71.8%	33.1%	31.7%	32.0%	33.0%	40.0%	82.5%	15.0%	50.0%	66.0%				
見直し後 がん検診受診率 (子宮頸がん)		28.7%	71.8%	33.1%	31.7%	32.0%	33.0%	40.0%	82.5%	15.0%	33.0%	100.0%				
見直し前 がん検診受診率 (乳がん)		37.5%	93.8%	37.2%	36.5%	36.1%	30.7%	40.0%	76.8%	-18.1%	50.0%	61.4%				
見直し後 がん検診受診率 (乳がん)		37.5%	93.8%	37.2%	36.5%	36.1%	30.7%	40.0%	76.8%	-18.1%	37.0%	83.0%				
見直し前 がん検診受診率 (前立腺がん)		34.1%	85.3%	36.2%	34.1%	35.1%	35.3%	40.0%	88.3%	3.5%	50.0%	70.6%				
見直し後 がん検診受診率 (前立腺がん)		34.1%	85.3%	36.2%	34.1%	35.1%	35.3%	40.0%	88.3%	3.5%	36.0%	98.1%				

4-1 防災・減災対策の充実

指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	中間目標値 (R7)	R6達成度 (R6/中間)	伸び率 (R6/現状)	目標値 (R12)	R6達成度 (R6/目標)	達成 (未達成) の要因・背景	見直しの方向性	見直しの理由	担当課
見直し前 総合防災訓練参加者数	令和元年度白石市総合防災訓練参加者数実績値より	3,687人	87.8%	311人	1,300人	2,148人	5,284人	4,200人	125.8%	43.3%	5,000人	105.7%	本市の総合防災訓練については、令和2年度から4年度までコロナ禍のため規模を縮小して開催したため訓練参加者数は大幅に減少した。令和5年度からは通常規模に戻し、以前と同様市民参加型の防災訓練として開催し、また市内小中学生全員が授業日として訓練に参加したため、訓練参加者数は増加している。	見直し	本市の総合防災訓練の参加者数は、コロナ後、市内小中学生全員が授業日として参加していることもあり増加しているが、総合計画策定当時に比べて人口減少が加速していることから、防災施策推進を図る適切な指標として、参加人数から参加率に変更する必要があるため。	危機管理課
見直し後 総合防災訓練への16歳以上の参加率 (16歳以上の人口比)	白石市総合防災訓練参加者数実績値より	10.56%	—	3.95%	4.49%	11.87%	11.50%	—	—	8.90%	13.00%	88.46%				

第六次白石市総合計画指標見直しの一覧表

4-2 交通安全・防犯対策の充実

	指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	中間目標値 (R7)	R6達成度 (R6/中間)	伸び率 (R6/現状)	目標値 (R12)	R6達成度 (R6/目標)	達成(未達成)の要因・背景	見直しの方向性	見直しの理由	担当課
見直し前	交通安全教室の実施回数(保育園、幼稚園、小学校、中学校)	令和元年度交通安全教室開催実績より	23回	82.1%	26回	28回	28回	34回	28回	121.4%	47.8%	36回	94.4%	稚園・保育園・小中学校ともに、年間1回程度の開催としていることや、本市への講師派遣を不要としている園・学校があることが要因と考える。開催回数に伸び悩みがある。また、少子化とともに園・学校の統廃合が進めば、さらに開催回数の減少が見込まれる。	見直し	交通安全教室は、幼稚園・保育園・小中学校が保育計画・学校の年間スケジュールなどで年1回程度の開催としているほか、令和8年度から休園する保育園が発生したり、本市への講師派遣を不要としている園・学校があったりすることから、開催回数の目標値を変更するとともに、開催回数以外の指標を設定する必要があるため。 参考：令和7年中の件数は27件	危機管理課
見直し後	人身事故件数	「みやぎの交通事故」(宮城県警察本部発行)より	60件	—	40件	31件	30件	25件	—	—	41.7%	25件以下	0.0%				
見直し前	防犯実働隊の隊員数	令和元年度防犯実働隊保険加入実績より	148人	89.7%	148人	146人	139人	134人	165人	81.2%	-9.5%	200人	67.0%	防犯実働隊員は、自治会や各地区の防犯担当者が担っている場合がほとんどであるとともに、その防犯担当者の高齢化と若年隊員の不足によって防犯実働隊員の担い手が要因であると考えられる。	見直し	防犯実働隊員は、自治会や各地区の防犯担当者が担っていることが多く、高齢化と若年隊員の不足によって担い手不足が深刻となっており、隊員数の目標値を変更するとともに、隊員数以外の指標を設定する必要があるため。	危機管理課
見直し後	地域幸福度(Well-being)指標における「防犯対策が整っており、治安が良い」に対し「とてもそう思う、どちらかというとそう思う」と考えている市民の割合	市民アンケート	—	—	—	—	—	31.0% (令和7年度)	—	—	—	34.1%	—				

5-1 農林業の振興

	指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	中間目標値 (R7)	R6達成度 (R6/中間)	伸び率 (R6/現状)	目標値 (R12)	R6達成度 (R6/目標)	達成(未達成)の要因・背景	見直しの方向性	見直しの理由	担当課
見直し前	みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示制度取得者数		3人	50.0%	10人	10人	10人	10人	6人	166.7%	233.3%	10人	100.0%	高付加価値化に取り組む農業者に対し、みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示制度取得を推進してきたため。	見直し	計画策定時、環境負荷低減の取り組みを評価できる制度は、県認定のみであったが、法改正により、国認定の制度が新設されたため。	農林課
見直し後	環境負荷低減に取り組む農業者数(累計)	みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示制度みどり認定(環境負荷低減事業活動実施計画認定)	3人	—	10人	10人	10人	10人	—	—	—	30人	33.3%				
見直し前	人・農地プランの実質化	白石市人・農地プラン	30%	50.0%	100%	100%	100%	100%	60%	166.7%	233.3%	80%	125.0%	国から策定が義務づけられ、指定期限までに完了したため。	見直し	法改正による制度変更により、人・農地プランから地域計画に変更となったため。	農林課
見直し後	地域計画の目標地図完成度	農業経営基盤強化促進法	0%	—	0%	0%	0%	33%	—	—	—	80%	41.3%				
見直し前	新規就農者数(人/年)	農業次世代人材育成事業ほか	1人	50.0%	4人	14人	5人	1人	2人	50.0%	0.0%	3人	33.3%	急激な人口減少と高齢化、若手農業者不足のため。	見直し	将来の担い手確保を見据えた支援を行い、就農後の安定的で収益性の高い経営を目指すため。	農林課
見直し後	新規就農者数(累計)	農業次世代人材育成事業ほか	1人	—	10人	24人	29人	30人	—	—	—	60人	50.0%				
見直し前	認定農業者数(累計)	農業経営基盤強化促進法	74人	88.1%	65人	67人	66人	66人	84人	78.6%	-10.8%	86人	76.7%	急激な人口減少と高齢化、定年延長による定年後の農業従事者減少のため。	見直し	営農者の経営安定に向けて、認定農業者移行の支援を行い、地域農業の担い手となる農業者の育成・確保を図るため。	農林課
見直し後	新規認定農業者数(累計)	農業経営基盤強化促進法	2人	—	7人	9人	9人	9人	—	—	—	24人	37.5%				

※目標地図…概ね10年後を見据え、農地ごとに誰が耕作するかを色分けし、地域の農業の将来像を視覚的に示すために作成する地図

第六次白石市総合計画指標見直しの一覧表

5-2 商工業の振興

	指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	中間目標値 (R7)	R6達成度 (R6/中間)	伸び率 (R6/現状)	目標値 (R12)	R6達成度 (R6/目標)	達成(未達成)の要因・背景	見直しの 方向性	見直しの理由	担当課
見直し前	目標年次までの新規立地企業数 (累計)		0件	0.0%	0件	0件	0件	0件	5件	-	-	10件	-	重点戦略4「働く場の創出」と同様に、新規立地企業数としているため、誘致が行われた場合や空き物件での操業などの実績値を記載することとなるが、現実的には誘致が決まっても造成等を行う必要があること、空き物件も数件しかないことから当分の間実績値を記入することができないものと想定される。	見直し	企業誘致のほか、増設等に伴う企業数を増やすことで、より一層の商工業の振興につなげるため。	都市創造課
見直し後	目標年次までの新規立地及び増設等企業数(累計)		0件	-	0件	0件	1件	1件	-	-	-	10件	-				

6-4 魅力ある都市空間の整備

	指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	中間目標値 (R7)	R6達成度 (R6/中間)	伸び率 (R6/現状)	目標値 (R12)	R6達成度 (R6/目標)	達成(未達成)の要因・背景	見直しの 方向性	見直しの理由	担当課
見直し前	都市公園施設の長寿命化施設 (第1期：平成27年度～令和6年度)	公園施設長寿命化台帳	78%	97.5%	78%	79%	82%	74%	80%	92.5%	-5.1%	100%	74.0%	公園施設長寿命化計画に基づき、令和2年度から令和5年度まで、遊具等の公園施設の修繕、撤去、設置を行った。劣化等により危険度の高い遊具については、概ね対応済みである。(劣化はあるが安全性が担保されているものは保留)	見直し	令和6年度に「公園施設長寿命化計画」の改定を行った。令和7年度から、改定した長寿命化計画に基づき、順次公園施設の改修を行う。長寿命化計画で位置付けられた公園施設のうち、機能創造型及び機能改修型公園で健全度判定がA及びBの公園施設を547施設から688施設にするため、目標値の変更を行った。 A・・・良好 B・・・経過観察 C・・・補修・更新が必要 D・・・更新が必要	都市創造課
見直し後	都市公園施設の長寿命化施設数 (第1期：平成27年度～令和6年度) (第2期：令和7年度～令和16年度)	公園施設長寿命化台帳	527施設	96.3%	532施設	540施設	544施設	547施設	-	-	-	688施設	79.5%				